

シーンⅡ－8 せせらぎ水路小水力発電普及推進事業

事業目的

農業用ダム・水路などの農業用水利施設には、小規模水力発電の可能性がありながら、未利用の施設が数多くあると考えられています。

小水力発電は、純国産の再生可能なエネルギーで、CO₂を発生しないクリーンなエネルギーですが、本県における農業用水を活用したマイクロ発電施設(100kw以下)の設置実績は1件のみとなっています。

現在、その普及促進が課題となっていることから、低コストで最適な整備手法の早期確立と効果検証を目的に、モデル施設の整備に取り組めます。

事業内容

【H27年度】

全体事業費 1,000千円 (うち みやぎ環境税充当 1,000千円)

事業量 効果検証一式

事業主体 宮城県

内容 H26年度までに整備した大崎市内川でのモデル小水力発電施設において、発電データの観測と維持管理手法等の効果を把握し、今後の普及に向けた検証とまとめを行います。

その他 H24:概略設計(5,376千円) ・H25～26: 施設整備(27,000千円)

事業効果

CO₂年削減効果 — CO₂



小水力発電設置例(大崎市三丁目幹線用水路)

現状

未利用の
農業用水路に...



整備後のイメージ

小水力発電システムを
設置し、普及のための
整備手法を確立します。

